

べと病

【学名：*Peronospora parasitica* Gaumann】



写真1 葉表の病徴（キャベツ）



写真2 葉裏のカビ（キャベツ）

【被害と発生生態】

- ・被害作物…キャベツ， ブロッコリー等
- ・発生部位…葉
- ・発生好適条件…日中の気温が24℃以下， 夜間が8～16℃の多湿時に最も発生します。

【見分け方】

- ・べと病は多くの野菜類・花き類で発生しますが， この病原菌はキャベツやブロッコリーを侵します。同じアブラナ科でも， ハクサイは侵しません（ハクサイのべと病は別の系統の菌が侵します）。
- ・はじめは， 下葉に輪郭の不明瞭な淡黄緑色の病斑ができます。拡大すると， 葉脈で区切られた多角形となります。病斑の裏側には， 汚白色のカビが生えます。

【対策】

- ・本畑では， 良く発生する病害です。育苗中を含めて， 発生前から薬剤の予防散布に努めてください。
- ・窒素過多や肥料切れで発生しやすいので， 注意してください。
- ・発病する作物の連作は， 菌密度を大きく増加させるので， 連作はしないようにしてください。
- ・排水が悪いと発病を助長するため， 排水対策に努めてください。

参考文献

原色病害虫診断防除編3—① 野菜・葉茎菜， 農山漁村文化協会